

授業科目名： 教育心理学	教員の免許状取得のための 必修科目	単位数： 2単位	担当教員名： 平田 乃美 担当形態： 単独
実務内容 (実務家教員の場合)			
科 目	教育の基礎的理解に関する科目		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程		
「学位授与の方針」との関係 DP2.共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4.個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけ実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標 (1) 教育心理学の対象や研究方法を学び、理論の根拠を理解する (2) 発達概念、理論、プロセス、規定要因等を理解する (3) 学習の種類とメカニズムの基礎を理解する (4) 動機づけとそれに影響を与える要因を理解する (5) 学習指導の諸理論と方法、授業での学習形態と効果を理解する (6) 知的能力・学力・人格・社会性の基礎を学び、子どもの多様性の源泉を理解する (7) 学級集団の心理、教師-子ども関係、仲間関係等を理解する (8) 子どもへの心理臨床的援助技法を学び、不適応や病的傾向の対応を理解する (9) 障害児の心理と特別支援教育を理解する 以上の理解を通して、教育現場で適切な対応ができるようになる			
授業の概要 (1) 上記の到達目標とテーマについて、教科書学習を行う (2) 指定課題をレポートにまとめ、教員からのコメントを踏まえて理解を深める。レポートでは、ただ教科書をまとめるだけでなく、自ら調べ考えたことに基づく深い考察が求められる。特に、科目修得試験では幼児期から青年期の「発達と学習」の理解が問われる (3) 最終的に、教育心理学の「根拠」に基づいた教育を行えることを目指す			
授業計画 第1回：教育心理学とはどのような目的をもった学問か、教育心理学の内容 第2回：教育心理学の研究法とそれぞれの特徴：教育の場での実験法・調査法・事例研究法・観察法 第3回：発達とは何か：発達概念の理解、発達の一般的な特徴、発達を規定する要因 第4回：「発達段階」と「発達課題」という考え方、発達と教育の関係 第5回：学習への動機づけ（学習意欲）(1)：動機づけのプロセス、欲求・動機 第6回：学習への動機づけ（学習意欲）(2)：外発的動機づけと内発的動機づけ、コンピテンス動機、有能感・自己効力感 第7回：学習への動機づけ（学習意欲）(3)：原因帰属、無気力 第8回：学習のメカニズム（学習の起こり方としくみ）、問題解決としての学習、記憶のモデル・方略・記憶の内容 第9回：授業と学習指導の心理学：協同学習と学習の個性化、受容的学習から主体的学習に至る多様な学習指導の理論 第10回：学級集団の心理、教師-子ども関係 第11回：教育評価、知的能力の発達と測定、学力と学業不振などの学習評価 第12回：パーソナリティ、社会性、親子関係、仲間関係 第13回：子どもの不適応、生徒指導の重要な課題（不登校・いじめ・非行） 第14回：心理臨床的援助技法（カウンセリングと心理療法） 第15回：子どものさまざまな障害と障害に応じた対応、特別支援教育としての学校システム			
スクーリングでの学修			
テキスト 桜井茂男編著（2017）『改訂版たのしく学べる最新教育心理学 教職に関わるすべての人に』図書文化社、978-4810076905			
参考書・参考資料等 仁平義明（2017）「エビデンスに基づく『いじめ対応』最前線」、白鷗大学教育学部論集11（1）、45-71. (https://hakuoh.repo.nii.ac.jp/records/2113)			
学生に対する評価 レポート評価（50%）、科目修得試験（50%）			